

すこやかネット通信

— 第56号 — (R3.11.12)

すこやかな子どもを生ま育てるネットワーク推進委員会 通称『すこやかネット』は安心して妊娠期を過ごし、出産・育児ができる地域を目指して、子育て真っ最中のパパ・ママ、保健・医療・福祉・教育など様々な機関の関係者が連携している委員会です。

今年度は『みんなで支える！コロナ時代の安心子育て』をテーマに活動中！



「出前子育て懇談会」

授業の一環として子どもたちへ、集まりでの研修として保護者の方へ… 保育園・小学校・中学校等に出向き、いのちのこと、出産や育児、思春期のこと、メディアについてなど、様々なテーマで講話を行っています。

令和2年10月 鶴岡中央高等学校

「いのちの大切さと乳児の発達」



令和2年11月 上郷小学校

「子どもとメディアとの上手な付き合い方」



令和3年2月 加茂水産高等学校

「青年期の健康な性と課題について」



令和3年9月 あかちゃん広場

「知っておきたい！ 乳児期からのメディアとの上手な付き合い方」



ご希望の方、関心を持たれた方は 下記 事務局までお電話・メールで、お気軽にご連絡ください♪
無料で出前！必要な機材も持参します！お待ちしております😊



妊娠から出産、子育てまでをフルサポート「つるおか子育てアプリ」

妊娠中・子育て中の方に役立つ情報や機能が充実しています。ぜひご利用ください。
アプリでできること(一例)

- ・市内のイベントや子育て関連のお知らせなどの受取り
- ・予防接種スケジュールの自動作成
- ・妊婦健診や子どもの成長記録の管理

↓アプリ登録はこちら↓



発行: 鶴岡市すこやかな子どもを生ま育てるネットワーク推進委員会
事務局: 鶴岡市健康福祉部 健康課 〒997-0033 鶴岡市泉町5番30号 Tel25-2111(内線373)
メールアドレス: kenko@city.tsuruoka.yamagata.jp

ためらわず
☎119番!

救急車を呼んでほしい症状 小児(15歳未満)

子どもが急な病気やケガをした時に、こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡しましょう。

あたま

- 頭を痛がり、けいれんがある
- 頭を強く打った・出血が止まらない

かお

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

胸

- 激しい咳や、ゼーゼーして呼吸が苦しい
- 呼吸が弱い

おなか

- 激しい下痢・嘔吐で水分がとれず、食欲がなく、意識がはっきりしない
- 多量の血便

意識障害

- もうろうとしている ● 返事がない

飲み込み

- 医薬品・殺虫剤などを飲み込んだ
- ピーナッツを飲み込み呼吸困難になった
- タバコを **2 cm以上** 飲み込んだ

やけど

- 水疱・ただれになっていたら 病院(救急)を受診
- [対処法]
- 初期対応:流水で冷やす 5~10分 (お湯・カップラーメンでのやけども流水で冷やす)
 - 水疱はつぶさない

じんましん

- 特に **食べ物** でのアナフィラキシー症状 出現時
- [症状] じんましん + 呼吸ゼーゼー
じんましん + 吐く
じんましん + 脈ドキドキ

けいれん

- けいれんが**10分以上** 続く ● けいれんが止まっても、意識が戻らない

[観察のポイント] ○ けいれん時間は? ○ 四肢や眼球の動き・くちびるの色は?
○ けいれん後の意識の変化は? ○ まひの有無は?

[熱性けいれんの対処法]

- 衣類を緩める ○ 横にして、顔を横に向ける ○ 顔色・呼吸状態の観察 ○ 意識状態の確認

! 「熱性けいれん」の場合は、あわてず **かかりつけの小児科を早めに受診** しましょう。

夜間に、救急車を呼んだ方が良いかなど 判断に迷ったら、「小児救急電話相談」を利用ください。

山形県
小児救急電話相談

#8000

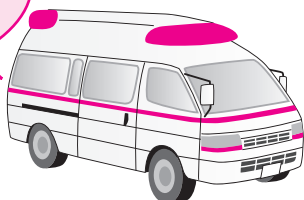
携帯電話及びプッシュ回線
(ダイヤル回線、PHSからは023-633-0299)

毎日
19時~翌朝8時

山形県では、お子さんの発熱・嘔吐などの急病の際の、医療機関への受診や 家庭での対処方法のアドバイスを行うことを目的に救急電話相談を行っています。

協力医師の支援体制のもとに、専門的な知識と経験を有する看護師が、相談対応しています。

適正に利用
しましょう!



あとながき

この夏、東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。無観客ではありませんでしたが、アスリートのひたむきな姿や日本人選手の活躍に多くの感動をもらいました。

「ウイズコロナ」の生活にも慣れてきたなか、ワクチン接種の普及もあり最近では感染者数も減り、山形県では感染者 0 の日が増えてきました。ニュースを見れば飲食やイベント、旅行など制限の緩和が報じられていますが、引き続き基本的な感染対策を行いながら早く終息してくれることを願います。(編集部長 三井)